



# 志津南

## 6月号 news

志津南ホームページ  
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (5/1 現在)  
世帯数 2,372 総人口 6,438 人  
発行  
志津南学区まちづくり協議会  
Tel(fax) 077-563-6206  
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

### コロナ規制解除



再開準備をするセンター職員

## 6月1日まちづくりセンター再開 感染予防対策徹底を呼び掛け

土の間隔確保、大声や歌唱を行わない、接触スポットを避ける、衛生対策、マスクの着用、手指の消毒、備品などの清拭消毒、また発熱や

息苦しさなどの体調不良を感じたり、過去2週間以内に感染拡大している国や地域への渡航歴のある人には、センター利用自粛をお願いします。

このように感染防止対策を徹底したうえで、再開していますので、利用される方のご理解ご協力をお願いします。

### 小学校再開 つながりを大切に

#### 班別登校のため空席が目立つ教室



校での基本的な習慣を取り戻すことはもちろんですが、友達や先生と出会う一緒に過ごすことで、子どもたちの心の安定を図り、つながりを深めることを大切にしました。

隣の席と机がずいぶん離れていたり、教室内に全員が揃っていないかったりと、子どもたちにとって「いつも通り」とはいかないまでも、友だちと過ごせる時間を楽しむ、喜んでいる姿が見

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時閉館していた志津南まちづくりセンターは6月1日、再開しました。ただし、コロナウイルスが完全に収束したわけではなく、今後の状況により対応は流動的なものになります。

全国的に緊急事態宣言が解除されたことを受け、草津市は5月27日地域まちづくりセンター利用再開のガイドラインを発表しました。再開にあたっては「あなたと、大切な人を守るために」として、三密対策や衛生対策を呼びかけています。

△三密対策  
人数制限、滞在時間の短縮、頻繁な換気、利用者同

志津南小学校(水野晃校長)は学校再開に向けて、5月14日から分団単位での分散登校を実施しました。分散登校中は生活リズムや学習に臨む姿勢など、学

きたり、教室内に全員が揃っていないと、子どもたちにとって「いつも通り」とはいかないまでも、友だちと過ごせる時間を楽しむ、喜んでいる姿が見

れました。

子どもたちの顔を見て元気が出たのは、実は教職員も同じで「次の登校日には、こんなことをしよう」「家庭学習用のプリントに、こんな説明を入れれば、もっと分かりやすくなるかな」と、一人ひとりの顔を思い浮か

### ふれあいハウス「絆」 少しでも前向きに



賑わっていた頃の「絆」風景

べながら準備を進めていました。

学校再開後も、「いつも通り」にはいかないことが多々あるかと思いますが、子どもたちが安心して楽しく学習に臨めるよう、精いっぱい工夫していきます。

ふれあいハウス「絆」は4月初めに数日間校の花見を楽しんだ後、コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月4日から先の見えない休館に入り、今までの日常が変わってしまいました。

とはいっても「絆」の運営はボランティア活動なので、皆さんに会えない寂しさはあるものの、資金面で

### 地域コーディネーターに垣根さん



志津南小学校の地域コーディネーターに若草5丁目の垣根和子さん

地域と小学校との連携調整役となります。

### おわびと訂正

5月15日号志津南ニュース3面の「まち協総会決算報告」の記事中、表の金額が間違っていました。

正しくは下表のとおりです。入力ミスで総額に変更はありません。おわびして訂正します。

### 令和元年度特別会計収支決算

(単位=円)

支出の部	決算額	
	誤	正
人件費	12,122,212	12,112,212
燃料費	23,984	23,894

の心配はありません。実際のお店の方々はどんなに変化かと思い、早期収束が待たれます。

しかし第2波がインフルエンザと共にやってくるのでは、という話もあります。コロナウイルスばかりでなく、感染防止対策を忘れずに日常を過ごすしかないかもしれません。

この状況の中ではありますが、先日の緊急事態宣言解除の一報を聞き、明るい兆しが見え始めました。「絆」は少しずつでも前向きにと、皆様にも安心して寛いでいただけるよう感染防止策「三密」を守ったうえで、6月15日の再開をめざして準備を進めています。

# コロナなんかには負けない

昨年11月、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスは、その後あっという間に世界中に広がりました。国の緊急事態宣言などもあり、志津南まちづくりセンターも閉館、各種委員会やサークルも、活動中止を余儀なくされました。緊急事態宣言の解除を受けて、まちは少しずつ日常に戻ろうとしてはいますが、まだ予断を許しません。

コロナ騒動で右往左往させられた皆さんに、状況や対処の様子などを伺いました。



## 環境美化ボランティアの会

5月予定の若草・岡本西地区の春の一斉清掃は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、中止になりましたが、草木の成長は待ってくれず町の環境悪化と共に、子どもたちの通学・公園での遊びにも支障をきたす状況になってきました。7月次の一斉清掃の草刈り、児童公園・通学路等の草刈り、三密対策・マスク着用遵守のもと息苦しい作業となりましたが無事終わることが出来ました。

## FOR YOU



## 懐メロを歌う会

去る2月25日に通算269回目をを行った後、コロナウイルスのため長期のお休みとなりました。歌の好きなシニアの皆さんは早期再開を期待していると思います。歌の場合、ツバが飛びますので、三密の一番悪い条件に当たり、再開には細心の注意が必要です。

ところで、古関裕而を主人公としたNHKの朝ドラが4月から始まっています。そのうち彼が作曲した「長崎の鐘」「高原列車は行く」などが演奏されるはずなので、一緒に歌って楽しみましょう。歌うことにより免疫力が高まりますよ。

4～5月はホームグラウンド閉鎖、全国大会県予選2つ、県大会1つが中止など、我がチームは活動停止で大ピンチに。

## 若草シニアソフトボール



ニュートンはベスト禍を避けて田舎に疎開し、暇となってボーとしている時に万有引力を発見したそうです。我がチームもあやかりたいと思っていたら、ありました！

これまで、チーム員は手足肩膝腰目などに故障があっても十分治らぬまま無理して練習・試合していたのですが、今回のコロナ禍の長い休みの間に、全員すっかり体調が回復したのです。



学区民のみなさんの体力づくりや、親睦を図ることを目的に、春と秋にウォーキングを実施してきましたが、今回はコロナウイルスの影響でやむなく中止といたしました。



## 健康推進員連絡協議会

楽しみにしておられた方も多く、残念です。他に、料理講習会(男性のため・子どものため・生活習慣病予防のため)、草津健康はつらつ体操の普及、地域事業への参加協力もしています。コロナ収束後は皆さんとのふれあい、助け合いを大切に、健康づくりの手助けができればと思います。



マスコット ピーズ刺しゅう・アートフラワー

## あじさい

夢の国のまるりんです。ねこのたまです。あじさいはお地藏様の「化身の花、手にもつ宝玉がまん丸いのに似ているからだ」と聞きます。優しい風につつまれてまんまる心があたたかい。まんまる みんなが笑ってる。まんまる まんまる うれしいです。



(創作手芸作家 三尾三紀子)



**元気くらぶ**

**LOVE**

コロナウイルスで世界中がパニック状態に、日本でも感染者が増加し、追分南町内会でも、町内会事業や百歳体操、サロン活動も中止や休止に追い込まれています。  
楽しみにしていた4月3日の沖島花見クルージングも中止になりガッカリです。  
「Stay Home」で街から人が消え、百貨店、モール、居酒屋等人が集まるところは休業になり、ゴールデンウィークも閑散としていました。この世に生を受け60数年で初めての事です。好きな飲み会や旅行に早く行けるように収束を祈っています。



**コロナが教えてくれたこと**

僕はコロナウイルスがあつてから家で過ごして来ました。  
小学校最後の時間を友だちと一緒に過ごせませんでした。先生たちは短いながらも卒業式をしてくれました。久しぶりに友達に会って嬉しくて、毎日の出来事がとても大切だと思えました。中学生になりましたが、中学校でも入学式の日だけの登校でした。  
緊急事態宣言が過ぎ、家で過ごす日々が続きました。  
コロナで亡くなる人がいるのを知って怖くなり、用事がないのに外には出ない、買い物に出かけるときはマスクをつける事を心掛けるようになりました。  
なぜコロナがここまで広がったのか考えてみると、危機感を持っていなかった。人は事態が大きくなると気が付かないし、周りに感染者がいまいとわからない。みんなが大変な事態と気付いてから減ってきたように思う。コロナで学校や生活にも影響があり、大変な思いをしたけど今回の事で学んだこともあった。それは友だちといつでも会える、自由に外へ出たりする、自由にと幸せな事で、家の中でずっと過ごすことはなかなか厳しい事。長い時間家族と一緒にいるとイライラしたり、むかついたりしました。家族でも距離感がとても大事だと思いました。  
コロナは色々な事を考えさせられる時間をくれました。これからの時間が教えてくれた事を大切にしていきたいです。  
(高穂中1年 山出佑誠)

**若草一味クラブ**

4月8日、定例のクラブウンドゴルフ終了後中央公園で、総会を開きました。世の中の様相は、コロナウイルスで一変してしまいました。ワクチンも治療薬もない中、多くの人々は不安な日々を強いられています。5月中旬より収束に向かいつつありますが、半世紀ごとに発生する巨大なウイルス感染をこれからは十分理解し生活することが必要と感じています。  
センターの自粛要請と、若草中央公園の片隅で開催した総会は無視されることがとなりそうです。健康維持のためにもクラブウンドゴルフや囲碁ホール、セラバンドの再開が待ち遠しい。



**NICE**

**GOOD**

**地域サロンお茶の間**

毎週金曜日(10~12時)若草第五集会所で開催している「お茶の間」では、お茶を飲みながらお話しも弾み楽しいひと時を過ごされていましたが、4月中旬より自粛することになりました。  
3月と6月の「お誕生会」も「三密」になりそうとやむなく中止することになりました。毎回50人以上が参加し大いに盛り上がるイベントです。今回も、出演者が色々趣向を凝らした予定を立ててくださったのですが、残念です。  
平穏な日常が戻り、「お茶の間」でお話ができる日を願っています。

3月6日、「ふれあい昼食会 雛御膳」を最後に、コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3ヶ月休会することになりました。5月に予定していた「春のふれあいバスツアー」の企画も白紙となりとても残念です。  
日に日に感染が全国へと広がり非日常生活に、マスク着用が当たり前、「三密」を厳守、「ステイホーム」と自粛生活に入りました。先日の緊急事態宣言解除の知らせに少し明るい兆しが見えてきたところです。  
一日も早い収束を願い、平穏な日常が待たれます。



**ボランティアグループ泉**

**Happy**



### 志津南学区民児協 支え合う住みよい社会 地域から

5月12日から民生委員・児童委員の日、活動強化週間が始まりました。志津南学区民生委員児童委員協議会(浅野謙一会長)は、地域住民の皆さんに委員の存在や活動に一層のご理解が得られるようにと三つの取り組みを行いました。



#### PRのPR

まちづくりセンターの駐車場に青空と琵琶湖をイメージした「のぼり」を設置して民児協の存在や活動のPRを行いました。写真。コロナウィルスで自粛ムードの期間でしたが、天候にも恵まれ、通りがかりの住民の方には足を止めて「の

ぼり」に書かれた標語「支え合う住みよい社会 地域から」を読んでいただけでたのでは無いでしょうか。



#### 休校明け登校見守り

志津南小学校は2か月以上の臨時休校後、新学期に向けての分散登校が始まりました。

5月15日は交通安全の日、委員も見守る中、草津警察署の大橋署長はじめ幹部署員がマスク「けいた君」

写真とともに正門前で児童に「お早う」と大声で出迎えました。児童たちも大声で応え、けいた君とハイタッチしながら正門を入っていました。

久しぶりの登校にみんな笑顔で明るく、新一年生も元気に登校していました。

#### 一人暮らしの高齢者宅訪問

ステイホームが定着している中、一人暮らしの高齢者はどう過ごされているのか安否確認のため、学区内



高齢者宅を訪問する委員

#### 準備されたマスク



「から手作りマスクの寄付があり、委員が手作りしたマスクを加え、必要数をそろえて持参しました。皆さんで作ってくださったの?」「デイサービスの時に早速していきます」など喜んでいただきました。委員も久しぶりに皆さんの元気な声を聞くことができました。

これからの季節、外出に

#### ラジオ体操中止

志津南小PTA(柳澤誓子会長)は、恒例となっている夏休み期間中のラジオ体操を夏休み期間短縮のため、今年度は中止と決定しました。

#### 随想

### 思いのままに



現在、世界は「新型コロナウイルス」問題の沈黙化・克服一辺倒で、WHO(世界保健機関)の掲げる「健康」に対するすばらしい考え方は、あまり知られておりませんし、現WHOテドロス

事務局長のあまりにも中国寄りの発言には、アメリカを中心とした批判が集中しています。今回その事は別にして、本来目指しているWHOの健康定義について列記してみたいと思います。

#### WHOの健康定義

- ① 希望が作り出せる
- ② あるがままに現象をみてこだわらない
- ③ いかなる困難も創造的な活動で処理できる自信がある
- ④ レジャーと仕事が調和して生き甲斐を感じる
- ⑤ 自己実現欲求を満足させている
- ⑥ 相手の気持ちを理解できるゆとりがある
- ⑦ 自己反省によって自己の非を改めることができる

社会面の「健康」5項目

- ① 何を食べてもおいしい
- ② よく眠ることができる

いかがですか?WHOが精神面や社会面の健康まで定義していることは非常にすばらしい事です。特に日本は世界一の超高齢化社会で、もう一度自分の「健康」についてはWHOの健康定義に照らしあわせ、これからの人生「健康第一」を実践してみたいいかがでしょうか。

(T・A)



#### ちびゴリラのちびちび

ルース・ポーランド 著  
岩田みみ 訳  
ほるぷ出版

すてきなオレンジ色に、かわいいちびゴリラの顔が描かれた表紙、世界中で多くの人々に愛されている絵本です。

赤ちゃんゴリラの「ちびちび」が、ジャンケルの中で温かく見守られ愛

言葉が繰り返して来るので、心がほかほか幸せいっぱいになってくるのです。小さな子からおじいちゃんおばあちゃんまで、一緒に楽しめる一冊。「あなたのことが大好き」という優しい眼差しを、いつまでも持

ち続けたいものですね。「ポイント」絵をゆっくり楽しんで 文字数が少ないですが、表情豊かな絵をゆっくり楽しんでから次のページへと移りましょう。誕生日の場面で歌うと、みんな笑顔になっちゃいますよ。

(中西ひとみ)

